

編 集 後 記

記念すべき福島県立医科大学看護学部紀要10号が装丁も新たにできあがりました。創刊するときの学部長としての私の思いを手繰ってみると、巻頭言に「時代を動かしていく研究と時代を超えた価値をもつ研究。未開の地にある看護の研究者たちには、研究を安易に考えず、自由な発想のもとに自分の生き様をかけるような重みのある研究を追い続けて欲しいと願って止まない」と書いている。当時は、教員にありきたりではなく、自由で独創性に富み、本学部ならではの研究をしてほしい、また、マイナーな研究を応援したいという思いが強かった。

学部開設から10年の間に看護系大学は増え続け、教員不足のなかで看護系教員は教育に追いかける日々が続いている。大学は、法人化され、効率性、経済性が問われ、学問の府としての気風が失われつつある。それでも尚かつ、研究によって科学や看護の価値を伝えていきたい。今後、紀要は、新たな発想のもとで編集方針が立てられていくことになると思われる。過去を大事にしながら、過去にこだわらず、絶えず進化している看護学部の教員の研究教育活動が見える紀要をめざし、教員全員で盛り立てていきたい。

（看護学部長 中山 洋子）

紀要委員長	結城美智子
紀 要 委 員	伊藤由里子
	佐藤恵美子
	中山 仁
	平田 弘美

平成20年3月発行

福島県立医科大学 看護学部紀要 第10号

発行者 福島県立医科大学看護学部

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

電話 024-547-1111